



# 2022年12月期 第2四半期 業績説明資料

2022/08/05

アース製薬株式会社

# エグゼクティブ・サマリー ①



- **業績の状況** ※ 前期実績は本年の基準を適用したと仮定し、調整
  - ▶ 売上高 : 893億円、計画比▲ 2.4%、前期比\* + 2.0%
  - ▶ 営業利益 : 119億円、計画比▲ 10.2%、前期比\* ▲ 11.7%
  - ▶ 通期業績見通しについては、現時点で当初計画を据え置く
- **カテゴリー別の状況**
  - ▶ 虫ケア : 高価格帯の新製品は出荷好調も、天候影響により市場は低調な推移
  - ▶ 日用品 : 概ね計画通りの進捗、その他日用品が増収をけん引
- **海外の状況**
  - ▶ 中国 : ロックダウン影響により、業績低迷
  - ▶ ASEAN : タイ・ベトナム中心に好調、マレーシア、フィリピンへの新規展開加速

# エグゼクティブ・サマリー ②

- **原材料価格高騰、為替変動による影響**

- ▶ 2Q計画に対しての影響額：3億円
- ▶ 通期計画に対しての影響額：10億円程度を想定
- ▶ 足元の為替動向が続いた場合、年間計画に対して3～4億円を想定

- **通期業績見通し**

- ▶ 現時点では当初計画を据え置く



**アース製薬**

# 2022年12月期 第2四半期業績

---

# 業績ハイライト



(単位：億円)

- 2Q時点では実質的に増収・減益、営業利益は計画に対して10%の未達
- 原材料価格高騰・為替変動による影響が徐々に顕在化

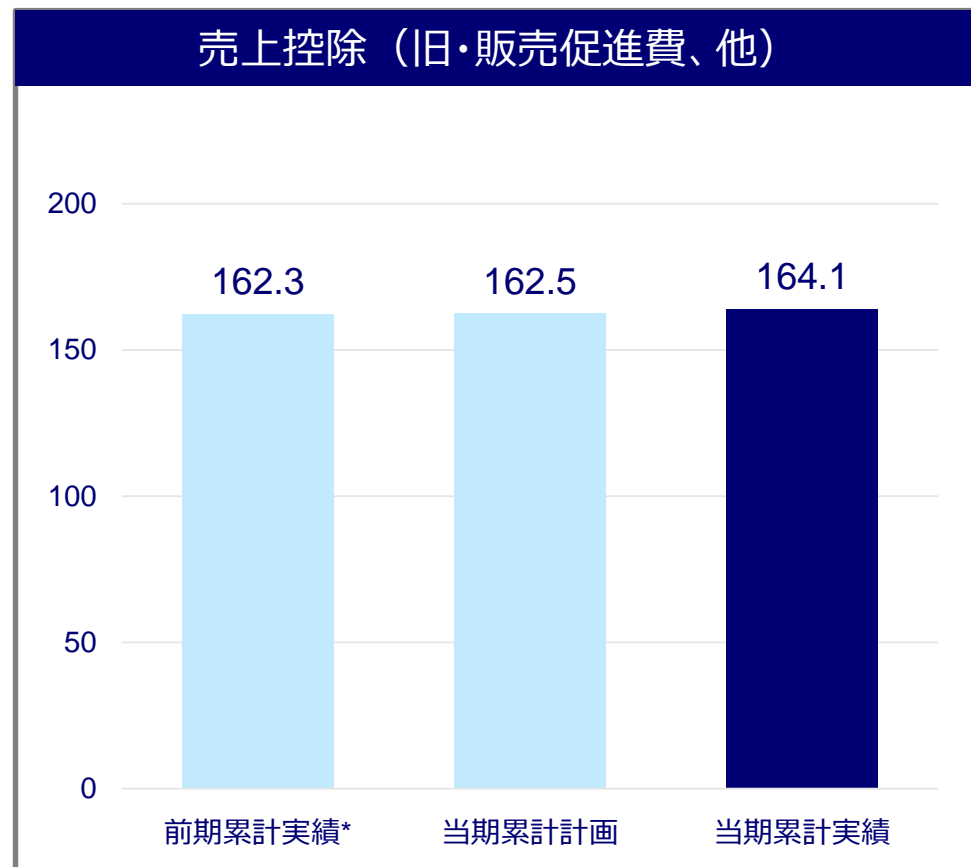
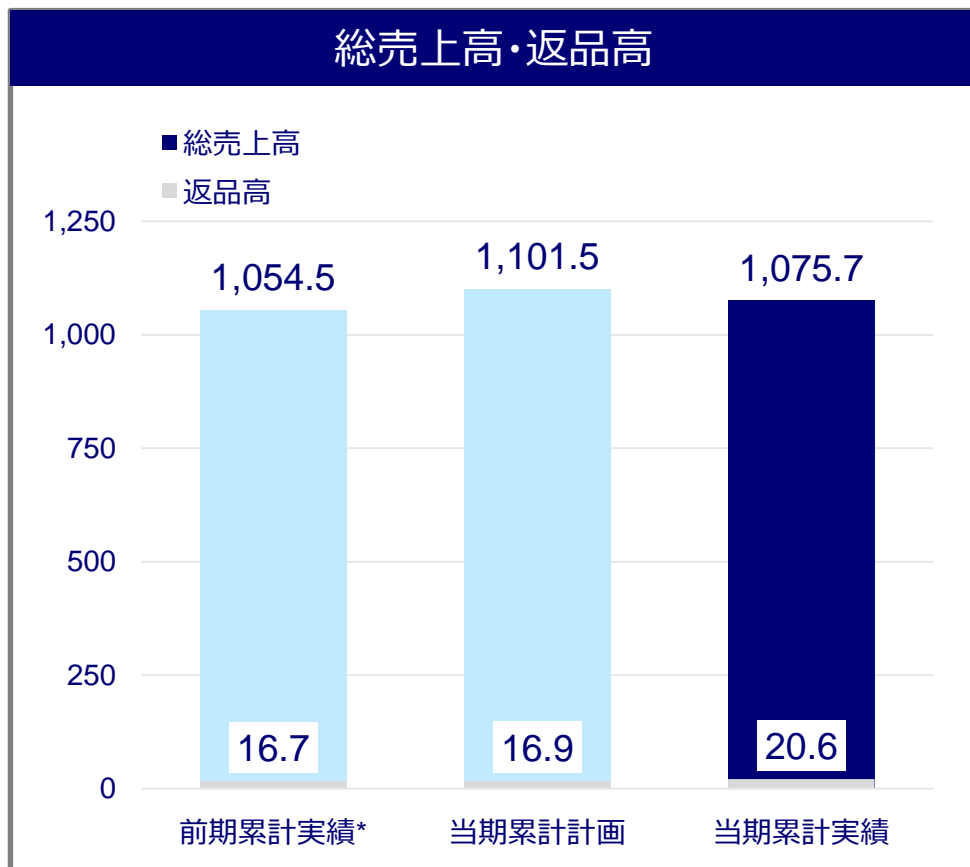
「収益認識に関する会計基準」適用後

	実績	計画比	前期比*	ポイント
売上高	893.0	97.6%	102.0%	<ul style="list-style-type: none"><li>虫ケア用品は市場の低調に影響され、想定を下回る推移</li><li>海外はASEANが好調に推移</li></ul>
売上総利益	399.3	94.4%	99.8%	<ul style="list-style-type: none"><li>原材料価格高騰・為替変動による利益影響：▲3億円</li><li>セールスマックス</li></ul>
販管費	279.9	96.5%	105.6%	<ul style="list-style-type: none"><li>計画の範囲内で適切に運用</li><li>一部の科目で期ズレあり、期末にかけて調整を検討</li></ul>
営業利益	119.4	89.8%	88.3%	<ul style="list-style-type: none"><li>2Q計画に対して13.6億円の未達</li><li>下期にリカバリ策を準備</li></ul>
税引前 四半期純利益	126.6	95.2%	91.5%	<ul style="list-style-type: none"><li>為替差益：5.3億円</li></ul>

# 総売上高・返品高・売上控除

(単位：億円)

- 総売上高は前年を上回るものの、計画未達
- 返品高は前年、計画ともに上回っているが、この時点では大勢に影響なし
- 総売上高に占める売上控除の比率は、計画に対して微増だが概ね想定通り



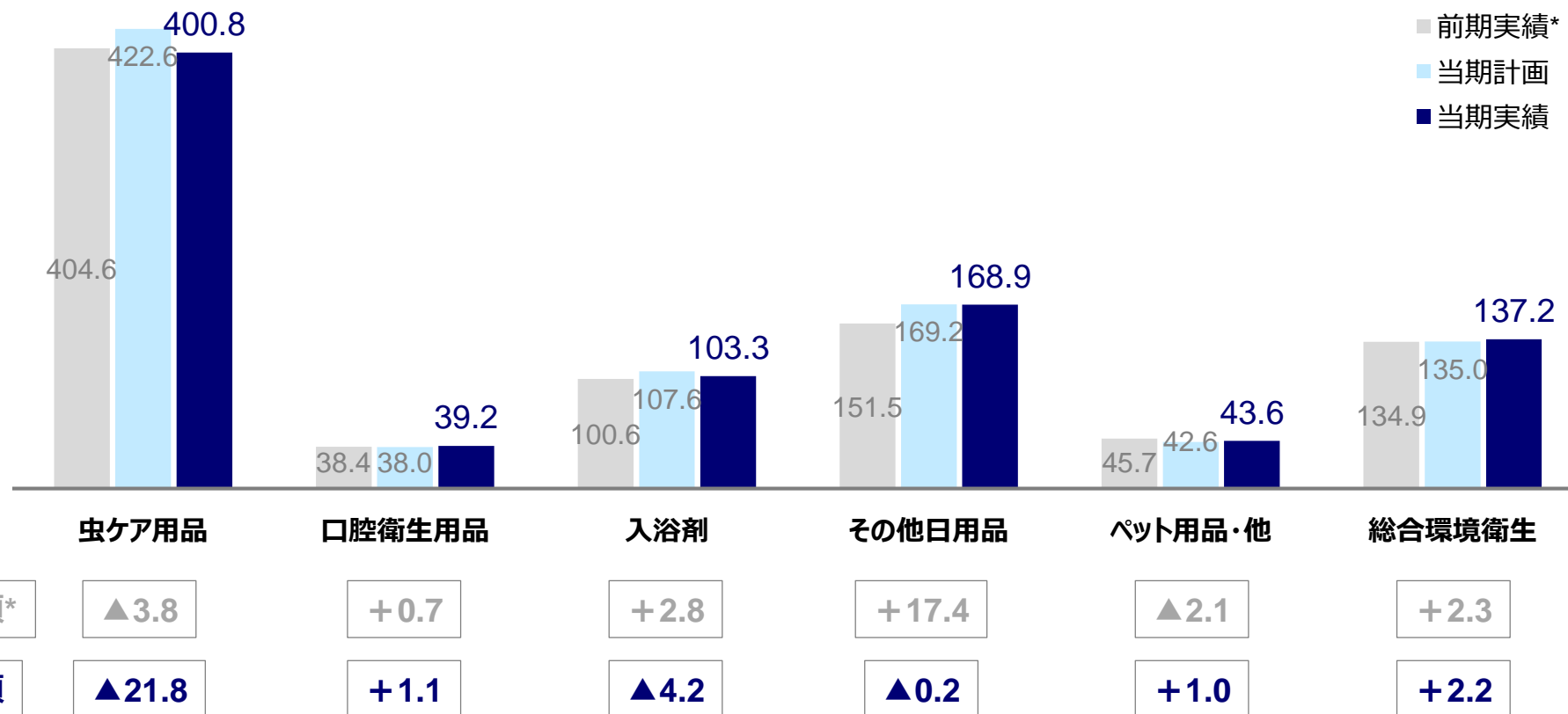
# 部門別売上高



\*外部顧客向け（内部相殺分除く）

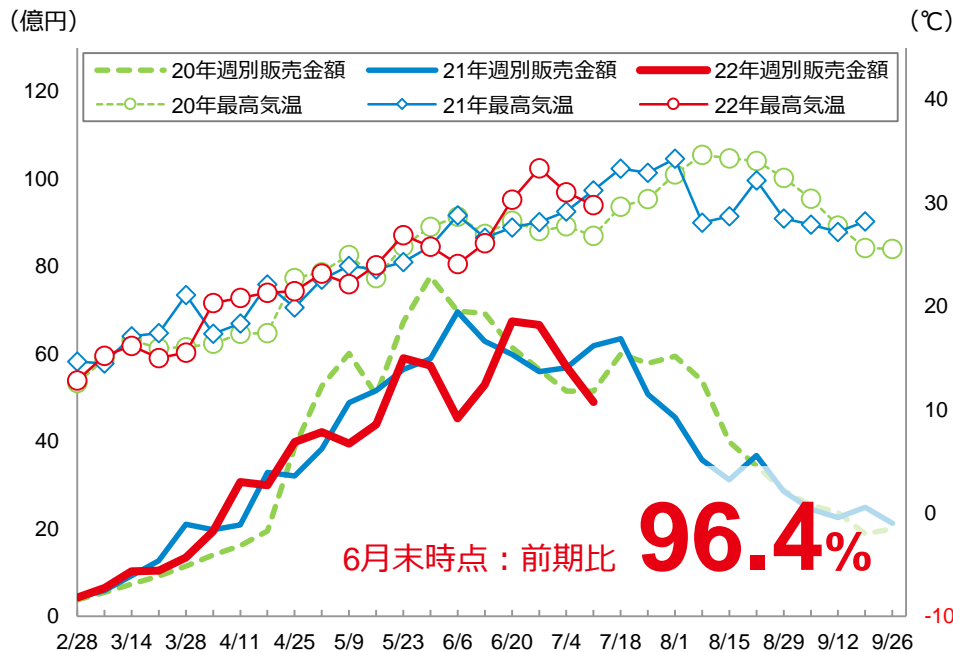
（単位：億円）

- 虫ケア用品は市場の低調な推移による影響を受け、2Q時点では、前年・計画ともに下回る
- 日用品、総合環境衛生事業については、全体的に好調に推移



# 国内虫ケア用品の状況

## 市場動向



- ハエ・蚊用、ゴキブリ用が前年を下回る
- ダニ・不快害虫用、虫よけ用品は好調に推移

## 当社市場シェア (6月末時点)

56.0% ➔ 56.4%

## 基幹商品の動向

- アースノーマット

計画比 **88%**



- 虫よけネットEX

計画比 **89%**



## 新商品の動向

- マモルーム

計画比 **178%**



- ゼロデナイト

計画比 **230%**





# 原価の状況

- パーム油由来の原材料、原油価格に連動する原材料を中心に高騰
- 海外調達品目における為替変動の影響（海上運賃等の単価への反映含む）も受ける

## 原材料価格高騰の影響

### 2Q計画との差異額

### 通期計画との差異想定

利益影響額

▲ **3**億円

利益影響額

▲ **10**億円

【価格高騰している主な原材料・包材】

- 濃グリセリン（モンダミン・入浴剤）
- コハク酸・重曹（入浴剤）
- LPG（エアゾール）
- 樹脂（製品全般の容器・フィルムなど）

## 為替レートの当初想定との差異

通貨	予算レート		6月末レート	予算比
人民元	17.15	➡	<b>20.38</b>	+18.8%
USD	111.00	➡	<b>136.68</b>	+24.3%
THB	3.38	➡	<b>3.85</b>	+13.9%
VND	0.00505	➡	<b>0.00583</b>	+15.4%

## 為替変動による影響

- 取引規模の関係から、最も影響を受けるのは人民元の為替変動
- 現状のレートのまま年間推移すると計画比3~4億円のコストアップの可能性

# 販管費の状況

(単位：億円)

- 2Q時点では、各費用とも概ね予算の範囲内で適切に執行
- 未達となっている項目の大半は、計上タイミングの期ズレによるもの

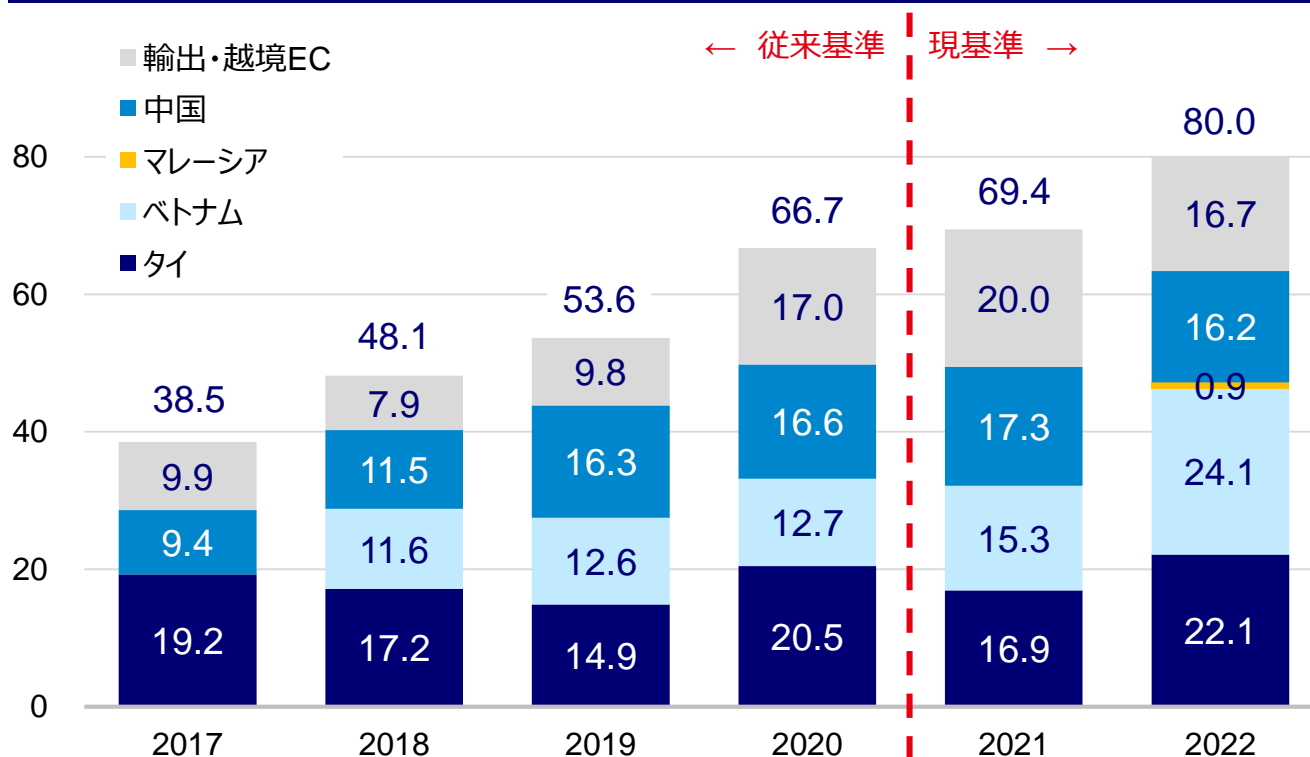
	2021年 2Q累計実績*	2022年 2Q累計計画	2022年 2Q累計実績	計画対比	ポイント
人件費	96.8	104.0	101.7	▲ 2.2	
運送費	21.5	23.2	23.1	0.0	
保管料	12.2	13.2	13.1	▲ 0.1	
広告宣伝費	42.0	47.0	42.7	▲ 4.3	投入タイミングの計画との期ズレによる下振れ
販売促進費	6.4	4.9	5.9	0.9	
研究開発費	13.4	15.3	14.2	▲ 1.0	
減価償却費	6.1	6.8	7.1	0.2	
のれんの償却費	9.5	4.3	4.2	▲ 0.1	(株)バスクリン のれんの償却が22.1Qで終了
旅費交通費	5.0	6.9	5.9	▲ 1.0	
交際費	1.4	2.8	2.6	▲ 0.2	
支払手数料	7.1	7.4	6.2	▲ 1.2	
販売手数料	2.1	6.5	6.6	0.0	
雑費	3.4	4.0	3.4	▲ 0.6	
その他	38.2	43.7	43.2	▲ 0.4	
<b>販管費 計</b>	<b>265.1</b>	<b>290.0</b>	<b>279.9</b>	<b>▲ 10.0</b>	

# 海外業績 (越境EC分含む)

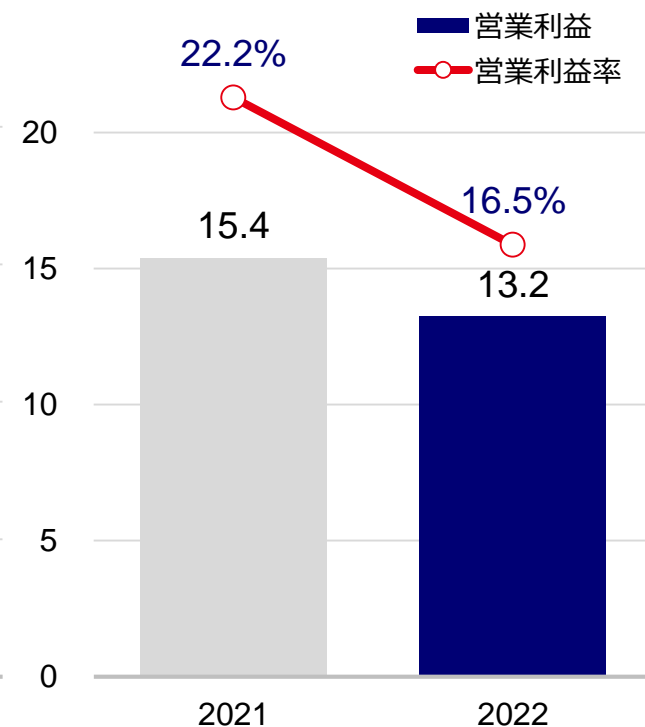
(単位：億円)

- 売上前期比\*：115% タイ・ベトナム中心に好調
- 国内からの輸出売上が前年を下回っていることが影響し、利益率は若干低下
- 上海のロックダウンは実質的に解除されたものの、完全回復には至っていない

## 海外売上高 (第2四半期)



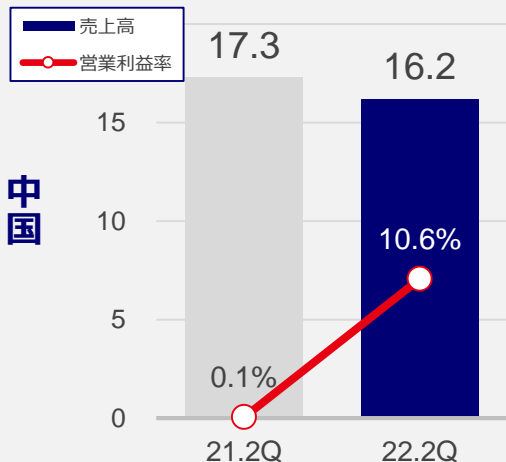
## 海外営業利益 (単純合算)



# 海外業績 (国別状況：中国)

## 現地法人業績\* (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：78.7%



### 計画に対する進捗

### 下期の取り組み

- ロックダウン影響により、物流の停滞や取引先の経営不振などイレギュラーが発生
- ECチャネルでの売上拡大を目指し、全体的には低調であった618イベントにて前年を上回る売上を達成



- COVID-19 終息後を見据えた展開
- 収益確保を前提とした有効な販促活動
- ECチャネルの継続強化  
W11イベントでの売上拡大

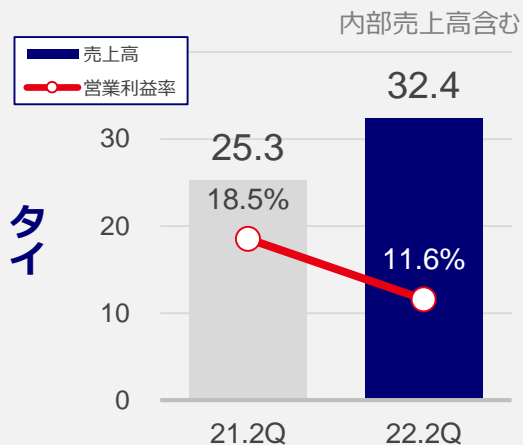
### 参考) ロックダウンによる影響

- ロックダウン期間：3/末～5/末 (実質2ヵ月間)
  - 物流の停滞・倉庫への出入庫不可
  - ECチャネル：配送困難のため、消費に影響
  - 華東エリア：得意先への配送が困難、広州など遠隔地からの輸送により対応も運送費増
- 6月以降ロックダウンは実質解除されたものの、完全回復には至っていない

# 海外業績 (国別状況：タイ・ベトナム)

## 現地法人業績\* (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：114.5%



### 計画に対する進捗

- タイ国内売上が順調に拡大
- 虫ケア用品 市場シェアNo.2へ上昇
- 原材料価格高騰、為替変動による影響が徐々に顕在化するが、販管費コントロールにより、利益計画は達成

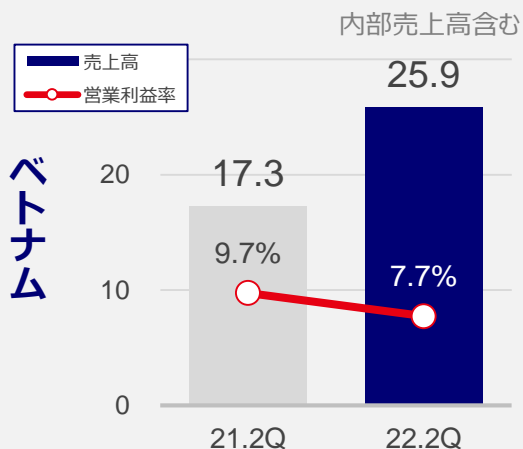


### 下期の取り組み

- OP-T (地方) チャンネルの展開強化
- 公的機関・近隣小売業と連携したCSR活動の実施

## 現地法人業績\* (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：128.2%



### 計画に対する進捗

- ベトナム国内売上が順調に拡大
- 原材料価格高騰などにより収益性は計画に対してやや下振れるも、上期の利益計画は達成



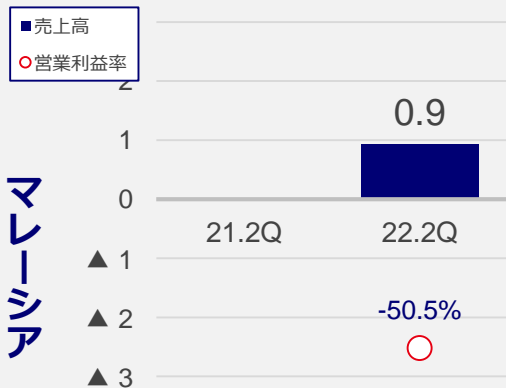
### 下期の取り組み

- 床用、食器用クリーナーの値上げ  
➔ 製品価格の10%程度
- 原価高騰による影響をカバーする費用コントロールの実施

# 海外業績 (国別状況：マレーシア・フィリピン)

## 現地法人業績 (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：—



### 計画に対する進捗

- 新製品ローンチは予定通り実施、計画以上の売上高を獲得
- 物流コストやブランド浸透のためのプロモーション費用が増加するが、トップライン成長に伴い、利益は計画通りの水準



### 下期の取り組み

- 芳香剤の新製品ローンチ
- 販路拡大に向けたプロモーション
- 収益性改善・売価改善

## 現地法人業績 (億円)

現地通貨ベースでの実質的な売上前期比：—

22.3QよりPL連結開始

### 計画に対する進捗

- 現地ローカル企業のM&A実施、株式66.7%取得



### 下期以降の取り組み

- 製品投入による市場形成
- 統合シナジーの発現 (既存品の生産移管など)



**アース製薬**

# 2022年12月期 通期業績見通し

---

# 2022年 通期業績見通し



(単位：億円)

- 原材料価格の高騰や為替変動など、想定を上回る影響を受けるが、**通期見通しは変更しない**
- 計画外の新製品上市によるトップライン成長、コスト抑制などのリカバリー施策を準備

## 2022年 計画



(単位：億円)

- 原材料価格高騰の影響を受けるほか、成長に向けて必要な費用を適切に投入
- 厳しい環境下の中、100億円超の営業利益かつ過去最高の純利益を目標とする

2021年12月期  
業績説明資料より再掲載

	2022 計画	ポイント	2021 実績	2022 計画
売上高	1,550	・ 実質+73億円、平年並みの天候を前提とした市場予測 ・ 虫ケア用品返品率：6.5% → 6.0%へ	2,037	2,110
売上総利益	668.5	・ 原材料価格高騰によるコスト増：▲12.5億円と想定 ・ 粗利増は確保するものの、利益率は若干の低下見込み	823.3	850.5
販管費	561.0	・ 研究開発、基幹システムの改修に係る費用など ・ 将来成長に向けた費用を積み増し	716.6	743.0
営業利益	107.5	・ 2021年と同水準の営業利益を確保	106.6	107.5
親会社株主帰属 当期純利益	72.8	・ 過去最高益	71.4	72.8
ROE	12%台	・ 2021年と同等の資本効率を目指す	12.4%	12%台

(参考) 従来基準



# 通期計画の達成に向けた取り組み

## ■ 当初計画外の新製品発売による売上拡大

- 当初計画には含めていないものも含め、秋に日用品の新製品66SKUをローンチ
- 売上高目標：26億円

## ■ 経費コントロールの実施

- 収益確保に向けた効率的な経費の活用を実施
- ただし、持続的な成長に必要な費用は積極的に投じる

## ■ 価格転嫁の先行実施

- 除湿剤、保温材など一部の日用品でこの秋から実施予定
- 海外では既に実施スタート

# 秋季発売新製品

■ 66SKUのローンチ、売上高\*目標：26億円

## 入浴剤



## 口腔衛生用品



## その他日用品





# 今後の経営の方向性

---

# 価格転嫁の方針

## 市場拡大はトップメーカーの責務



### ■ 高価格帯製品の売れる土壌づくり



## 原材料価格高騰・為替変動

### 原価の状況

- パーム油由来の原材料、原油価格に連動するエネルギー料を中心に高騰
- 海外調達品目における為替変動の影響（海運費等）の単価への反映含む）も受ける

#### 原材料価格高騰の影響

2Q時点の計画との差異額

▲ 3億

#### 為替レート

通貨	予約レート	2Q実績	変動率
人民元	17.15	20.00	+16.3%
USD	111.00	136.68	+24.3%
THB	3.38	3.85	+13.9%
VND	0.00505	0.00583	+15.4%

収益の圧迫

© Earth Corporation All Rights Reserved.

8

### ■ 2023年 虫ケア用品を中心に価格転嫁を実施

- 購入頻度、価格弾力性、市場シェア、当社業績への影響を総合的に判断
- 価格転嫁の実施により、営業利益率を+1pt程度押し上げる想定

# 投資案件の進捗状況

- 資本効率を意識し、収益成長に向けた投資を実施
- 案件ごとにハードルレートを設定（7%を目安に案件ごとのリスクを考慮）  
投資採択基準に基づく意思決定プロセスを適切に運用

## 【投資の状況】

主な投資案件	目的	2022年				2023年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
・ フィリピン現地法人M&A	アジア収益基盤の拡大の一環	★	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----->
・ 基幹システムの刷新	生産・調達・販売物流など 多岐にわたる領域での効率化	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----▶	★
・ 排水処理場の耐震補強	BCP対応				-----	-----	-----	-----▶	★
・ 入浴剤 生産ライン増設	需要増加に対応した 生産キャパシティの拡大	-----	-----	-----	-----	-----	-----▶	★	
・ 虫ケア用品 生産ライン増設	需要増加に対応した 生産キャパシティの拡大							-----▶	-----▶
・ 徳島ペットランド・新研究棟建設	研究施設等の刷新による 製品開発力の増強			-----	-----▶	★			

## Social

### ■ モナッシュ大学と寄付協定締結



アース製薬が豪モナッシュ大学と寄付協定を締結 (earth.jp)

- 豪モナッシュ大学の研究者らによって設立されたワールド・モスキート・プログラムと協働して、ベトナムでの蚊媒介感染症の予防を支援。
- 同大学と予防活動に関する寄付協定を締結し、当社の虫ケア用品開発の知見やノウハウを活用。

### ■ コスメバンクプロジェクトに参画



アース製薬が「コスメバンクプロジェクト」に参画 (earth.jp)

- 経済的理由などで化粧品を手に入れない方へ賛同企業から寄贈された化粧品・日用品を届けるプロジェクト。
- 環境負荷の軽減と社会課題の解決の一助になることを期待し、アドバイザーボード企業として参画

## Governance

### ■ 大幸薬品株式会社の株式の売却

- 政策保有株式に関する継続的な見直しの一環
- 売却手法については、現時点で検討中
- 大幸薬品とは業務提携契約を継続  
MA-Tの社会普及に向けた協働を進めていく

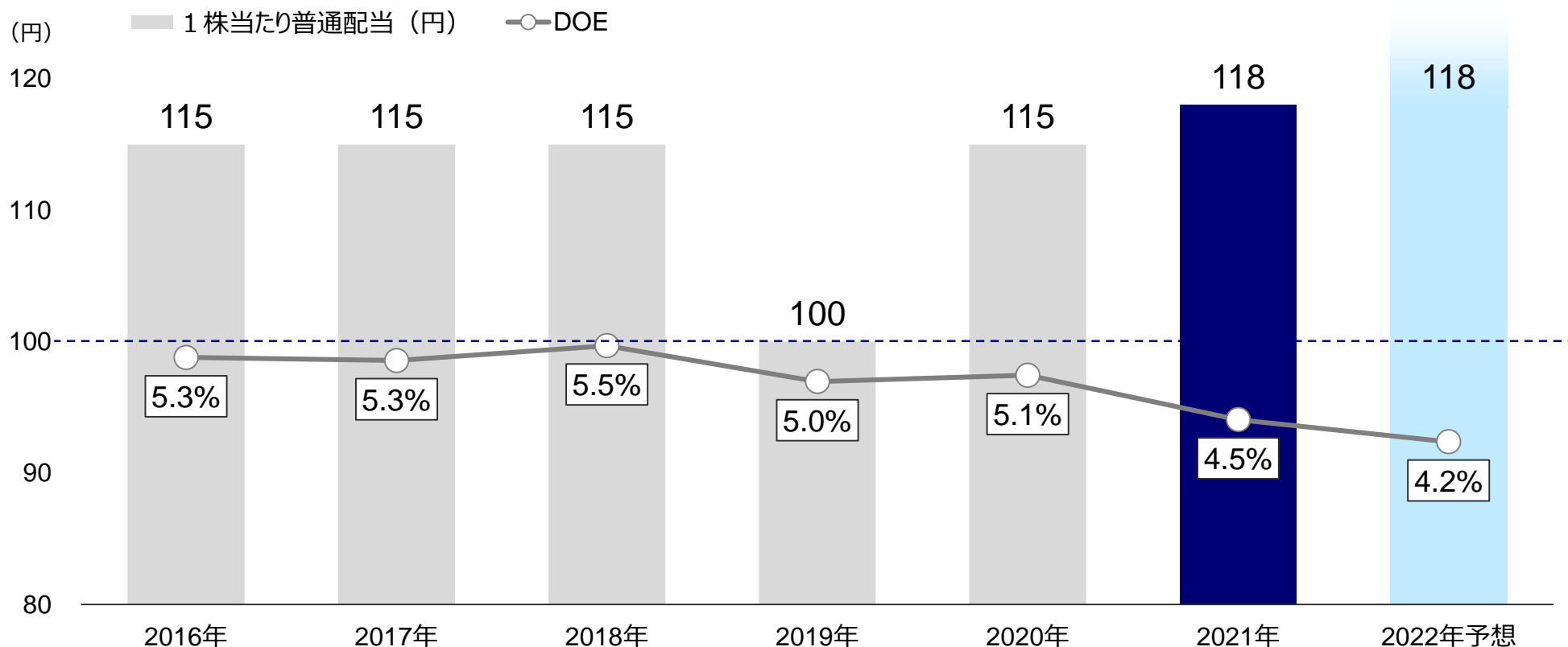
[当社が保有する大幸薬品株式会社の株式の売却及び業務提携契約の継続に関するお知らせ \(earth.jp\)](http://earth.jp)

### ■ 指名報酬委員会の設置

- CGC 補充原則 4-10-1の求めに対応
- 独立社外取締役が過半を占める構成とし、
  - 取締役の報酬に関する事項
  - 取締役の選・解任に関する事項
  - 後継者計画に関する事項 などについて
 取締役会の決議前に諮問するプロセスを経る

# 株主還元

- 純資産配当率（DOE）4～5%を目安に配当
- 2022年予想 1株当たり配当金118円、DOE4.2%、連結配当性向35.8%
- 業績や必要な内部留保の水準に応じて、増配・自己株買いなど機動的に検討



地球を、キモチいい家に。



**EARTH**  
Act For Life

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。



# APPENDIX.



# 「収益認識に関する会計基準」の適用に伴う影響

---

# 年間での想定影響

(単位：億円)

- 仲介取引、販売促進費の売上控除などにより、PL上は売上高・売上原価・販管費の見た目の数値に影響、営業利益以下の影響は軽微
- BSへの影響は軽微

	2021年実績 (従来基準)	2022年計画 (従来基準)	仲介取引分	販売促進費 (売上控除分)	2022年計画 (新基準)
売上高	2,037	2,110	▲ 378	▲ 182	1,550
売上原価	1,214.5	1,259.5	378		881.5
販管費	716.6	743.0		182	561.0
営業利益	106.6	107.5			107.5

# 販売促進費（売上控除）の計上タイミング

- 収益の実態をより適時に把握し、販促費の効率化を図るため、システムを構築
- 販促費の変動費用を販売計画に紐づく販促費用計画から合理的に見積もり、収益から控除  
これにより、収益管理（部門別・取引先別）を強化した効率的なマーケティング施策を実施

## 販促費管理システム構築・運用（2019年～）

- 企業別、製品別の2軸で管理
- 「何に（どこに）」、「どれだけ」、「どのように」を明確にし、適切な効果検証が可能に

## システム + 過去実績ベースによる管理精度UP

- 適切な販促費管理により、販促費の使途・期間が明確化される
- 販売予測・販促条件を過去実績に照らし、各取引における販促費の見積りを高精度で行い、売上計上のタイミングで売上控除

## 収益管理の仕組み再構築（2021年～）

- 事業部別、製品カテゴリ別の2軸で可視化
- より適時に、より精緻に収益状況を把握し、どのような状況下でも適切な施策を講じる
- 事業ポートフォリオ再編、資源配分の土台

**収益の実態を  
より適時に把握できる体制へ**

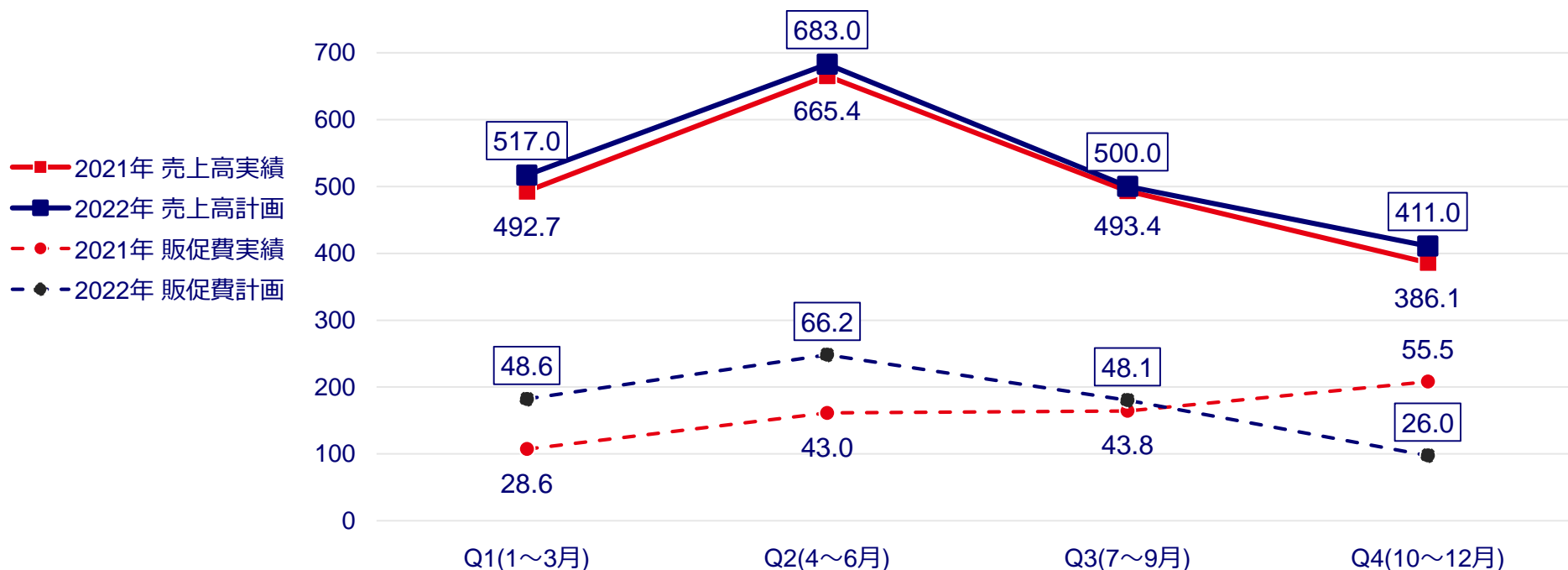
# 四半期別 販売促進費計画

従来基準比較\*



(単位：億円)

- 今期より販売促進費の計上は、概ね売上高に比例したカーブを描くと想定
  - ➔ 季節性の高い売上推移に対して、費用計上がリンクし、従来に比べて利益が平準化
- 売上増に加え、強化カテゴリへの投下などを踏まえ、販売促進費の増加を見込んでいる



販促費\_四半期別差額  
21実績vs22計画

+ 20.0

+ 23.2

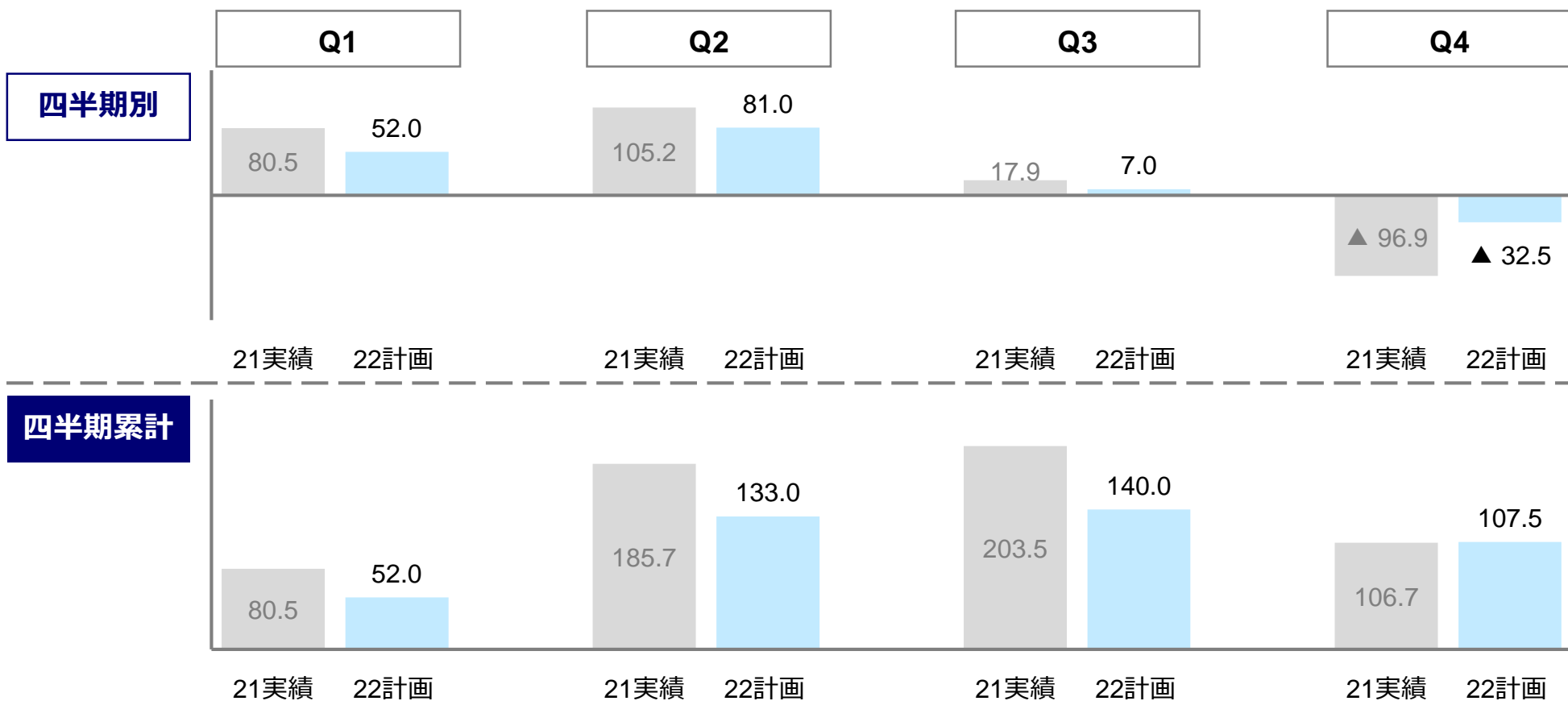
+ 4.3

▲ 29.5

# 営業利益計画（四半期別・累計）

（単位：億円）

- 見た目上、第1～3四半期の営業利益は前年比で減少する計画だが、年間累計での影響は軽微





**アース製薬**

# 2022年12月期 2Q業績説明補足資料

---

# 【連結】損益計算書



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年		2022年		2021年	
	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	前期比	計画比	年間計画	進捗率	2Q累計実績**
売上高	87,569	91,500	89,305	102.0%	97.6%	155,000	57.6%	115,821
売上原価	47,536	49,200	49,372	103.9%	100.4%	88,150	56.0%	64,218
売上総利益	40,032	42,300	39,933	99.8%	94.4%	66,850	59.7%	51,603
販管費	26,516	29,000	27,991	105.6%	96.5%	56,099	49.9%	33,036
営業利益	13,516	13,300	11,941	88.3%	89.8%	10,750	111.1%	18,566
営業外収益	385	130	796	206.7%	613.0%	500	159.4%	385
営業外費用	45	30	23	53.1%	79.7%	100	23.9%	45
経常利益	13,857	13,400	12,714	91.8%	94.9%	11,150	114.0%	18,907
特別利益	1	0	23			0		1
特別損失	13	100	69	502.4%	69.6%	250	27.9%	13
税引前利益	13,844	13,300	12,668	91.5%	95.2%	10,900	116.2%	18,895
粗利率	45.7%	46.2%	44.7%	▲ 1.0pt	▲ 1.5pt	43.1%		44.6%
営業利益率	15.4%	14.5%	13.4%	▲ 2.1pt	▲ 1.2pt	6.9%		16.0%
税前利益率	15.8%	14.5%	14.2%	▲ 1.6pt	▲ 0.4pt	7.0%		16.3%



# 【連結】部門別売上高



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年			2022年		2021年
	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	前期比	計画比	年間計画	進捗率	2Q累計実績**
虫ケア用品部門 計	44,319	45,405	44,086	99.5%	97.1%	61,431	71.8%	51,569
口腔衛生用品	3,857	3,807	3,950	102.4%	103.7%	8,280	47.7%	21,549
入浴剤	11,590	12,128	11,865	102.4%	97.8%	27,219	43.6%	13,124
その他日用品	16,218	17,813	17,941	110.6%	100.7%	33,792	53.1%	17,913
日用品部門 計	31,666	33,749	33,757	106.6%	100.0%	69,292	48.7%	52,587
ペット用品・その他部門 計	4,971	4,962	4,709	94.7%	94.9%	7,039	66.9%	5,067
家庭用品事業 計	80,956	84,117	82,553	102.0%	98.1%	137,763	59.9%	109,224
総合環境衛生事業 計	13,557	13,572	13,800	101.8%	101.7%	27,700	49.8%	13,546
内部売上高含む合計	94,514	97,689	96,353	101.9%	98.6%	165,463	58.2%	122,770
(調整分)	▲ 6,945	▲ 6,189	▲ 7,048			▲ 10,463		▲ 6,949
総合計	87,569	91,500	89,305	102.0%	97.6%	155,000	57.6%	115,821

(構成比) ※分母は内部売上高含む合計

虫ケア用品部門	50.6%	49.6%	49.4%	▲ 1.2pt	▲ 0.3pt	39.6%	44.5%
日用品部門	36.2%	36.9%	37.8%	1.6pt	0.9pt	44.7%	45.4%
ペット用品・その他部門	5.7%	5.4%	5.3%	▲ 0.4pt	▲ 0.1pt	4.5%	4.4%
家庭用品事業	92.4%	91.9%	92.4%	▲ 0.0pt	0.5pt	88.9%	94.3%
総合環境衛生事業	15.5%	14.8%	15.5%	▲ 0.0pt	0.6pt	17.9%	11.7%

# 連結：営業利益変動要因 (前期比)



(単位：百万円)

**13,516**      **21.2Q 実績\***



**11,941**      **22.2Q 実績**

<内訳>

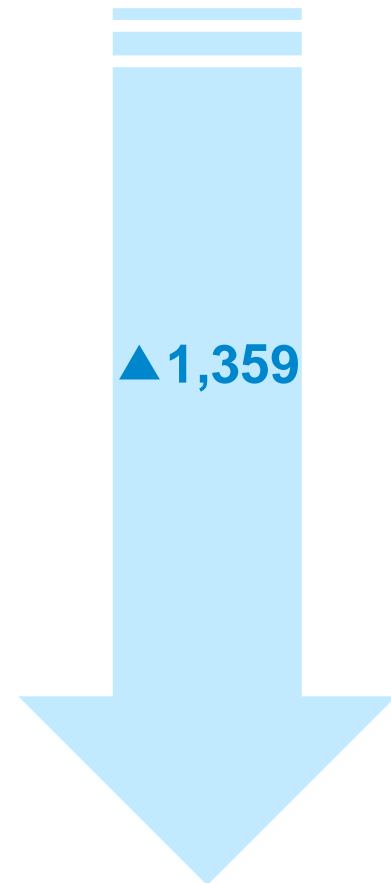
売上総利益の減少 ▲99	<ul style="list-style-type: none"> <li>増収効果 +961</li> <li>売上構成比の変化</li> <li>原材料価格・為替変動の影響</li> </ul>	▲1,060
販管費の増加 ▲1,475	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費の増加 ▲487</li> <li>物流費の増加 ▲255</li> <li>広告宣伝費の増加 ▲75</li> <li>販売促進費（売上控除以外）の減少 +47</li> <li>旅費・交際費などの活動費 ▲204</li> <li>支払手数料の増加 ▲347</li> <li>その他 ▲154</li> </ul>	

+は増益要因、▲は減益要因

# 連結：営業利益変動要因 (計画比)

(単位：百万円)

**13,300**      **22.2Q 計画**



**11,941**      **22.2Q 実績**

<内訳>

売上総利益の下振れ ▲2,366	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上計画未達の影響      ▲1,000</li> <li>売上構成比の変化</li> <li>原材料価格・為替変動の影響</li> </ul>	▲1,366
販管費の予算内執行 +1,009	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費の計画下振れ      +228</li> <li>物流費の計画下振れ      +19</li> <li>広告宣伝費の期ズレ・未使用      +432</li> <li>研究開発費の期ズレ・未使用      +104</li> <li>旅費・交際費などの活動費      +125</li> <li>その他      +101</li> </ul>	

+は増益要因、▲は減益要因

# 【連結】販管費



(単位：百万円)

	2021年	2022年	2022年	前期比	計画比	2022年		2021年
	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績			年間計画	進捗率	2Q累計実績**
人件費	9,686	10,401	10,173	105.0%	97.8%	20,910	48.7%	9,686
運送費	2,150	2,322	2,315	107.7%	99.7%	4,449	52.0%	2,150
保管料	1,224	1,326	1,314	107.4%	99.1%	2,511	52.3%	1,224
広告宣伝費	4,201	4,708	4,276	101.8%	90.8%	8,120	52.7%	4,201
販売促進費	641	496	594	92.7%	119.8%	1,070	55.5%	7,161
研究開発費	1,346	1,530	1,426	105.9%	93.2%	3,386	42.1%	1,346
減価償却費	619	686	715	115.5%	104.2%	1,388	51.5%	619
のれんの償却費	954	437	423	44.3%	96.8%	450	94.0%	954
旅費交通費	506	691	590	116.6%	85.4%	1,393	42.4%	506
交際費	141	285	261	185.1%	91.6%	474	55.1%	141
支払手数料	718	743	620	86.4%	83.4%	1,372	45.2%	718
販売手数料	216	653	661	306.0%	101.2%	1,245	53.1%	216
雑費	342	409	348	101.8%	85.1%	1,028	33.9%	342
その他	3,772	4,313	4,275	113.3%	99.1%	8,303	51.5%	3,772
販管費 計	26,516	29,000	27,991	105.6%	96.5%	56,099	49.9%	33,036
(構成比)								
人件費比率	11.1%	11.4%	11.4%	0.3pt	0.0pt	13.5%		8.4%
広告宣伝費比率	4.8%	5.1%	4.8%	▲ 0.0pt	▲ 0.4pt	5.2%		3.6%
研究開発費比率	1.5%	1.7%	1.6%	0.1pt	▲ 0.1pt	2.2%		1.2%

# 【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)		2021年 2Q末	2022年 2Q末	前年同期比 増減額	2021年 期末
流動資産	現金及び預金	24,154	21,739	▲ 2,415	21,027
	売上債権	36,693	37,223	529	22,941
	たな卸資産	26,286	29,147	2,860	27,502
	その他	2,256	2,809	553	2,547
固定資産	有形固定資産	27,940	28,501	560	27,551
	無形固定資産	5,257	4,788	▲ 469	4,276
	投資その他の資産	13,731	15,916	2,185	14,868
<b>資産 計</b>		<b>136,320</b>	<b>140,125</b>	<b>3,804</b>	<b>120,715</b>
流動負債	仕入債務	39,852	38,834	▲ 1,018	32,449
	短期借入金	2,223	2,284	61	2,498
	その他	20,357	25,426	5,068	17,351
固定負債	長期借入金	1,690	720	▲ 970	1,200
	その他	2,562	1,903	▲ 658	2,618
<b>負債 計</b>		<b>66,686</b>	<b>69,168</b>	<b>2,482</b>	<b>56,118</b>
純資産	株主資本合計	63,351	62,916	▲ 435	57,537
	その他の包括利益累計額	1,747	3,289	1,542	2,421
	非支配株主持分	4,534	4,750	216	4,638
<b>純資産 計</b>		<b>69,634</b>	<b>70,956</b>	<b>1,322</b>	<b>64,596</b>

# 【連結】キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	2021年 2Q末	2022年 2Q末	前年同期比 増減額	2021年 期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,729	6,686	▲ 43	4,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,308	▲ 3,173	▲ 864	▲ 3,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 4,175	▲ 3,642	533	▲ 4,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	192	713	521	327
現金及び現金同等物の増減額	438	584	146	▲ 2,688
現金及び現金同等物の期首残高	23,716	21,027	▲ 2,688	23,716
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加		126		
現金及び現金同等物の期末残高	24,154	21,739	▲ 2,415	21,027

# 【連結】 設備投資額・減価償却費

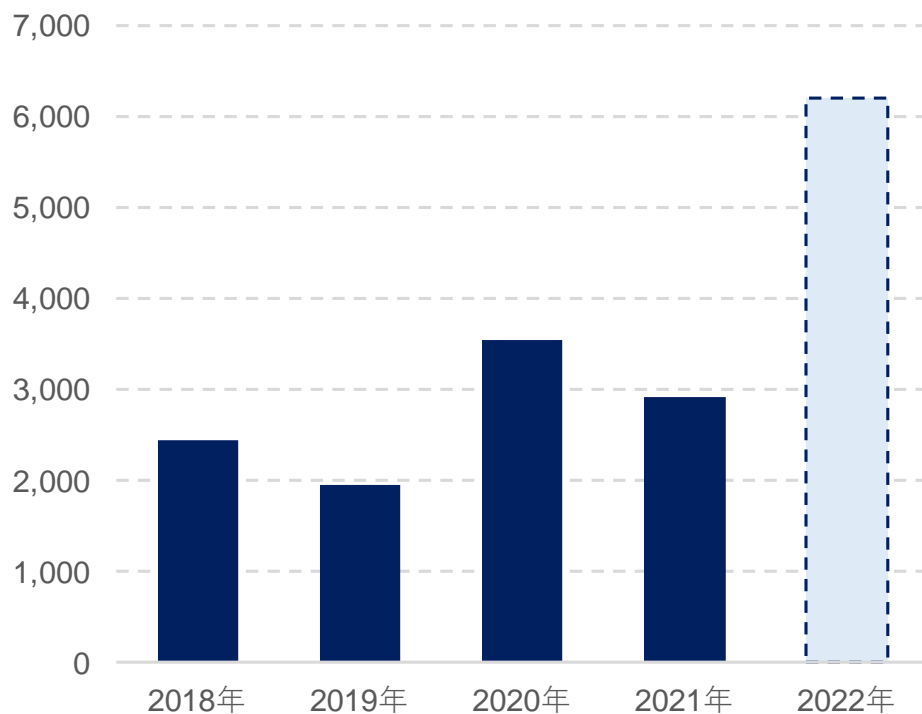


(単位：百万円)

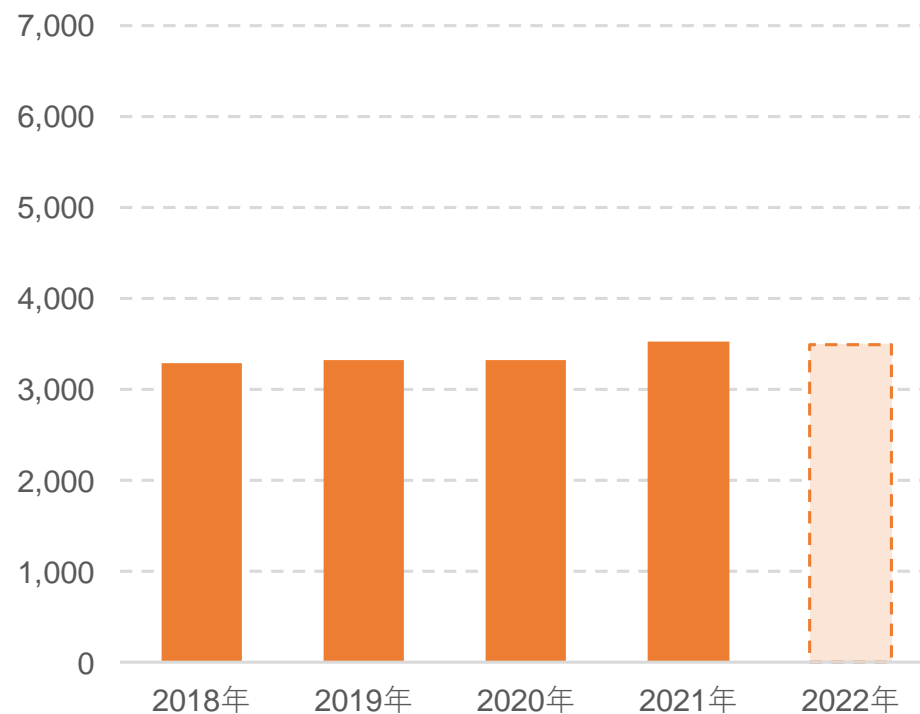
	2018年 実績	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 計画
設備投資額	2,442	1,953	3,548	2,928	6,200

	2018年 実績	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 計画
減価償却費	3,290	3,334	3,334	3,537	3,500

設備投資額



減価償却費



# 【グループ各社】業績概況



(単位：百万円)

アース製薬				バスクリン			白元アース			アース・ペット		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績
売上高	52,155	54,411	51,479	6,996	7,360	7,425	9,226	9,967	9,605	3,418	3,292	3,137
売上総利益	24,111	26,373	23,417	3,075	3,120	3,179	3,551	3,418	3,208	1,429	1,272	1,346
営業利益	11,041	11,215	9,052	645	586	652	988	617	571	395	286	457
ペットフード工房				Earth(Thailand)Co.,Ltd.			Earth Corporation Vietnam			Earth Home Products Maraysia		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績
売上高	245	281	265	2,530	2,641	3,243	1,649	1,922	2,588	0	60	92
売上総利益	133	150	138	862	772	943	643	773	953	0	26	26
営業利益	▲ 24	▲ 6	2	469	256	375	162	103	200	0	▲ 45	▲ 46
安斯(上海)投資有限公司				天津阿斯化学有限公司			安速日用化学(蘇州)有限公司			アース環境サービス		
(単位：百万円)	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年	2021年	2022年	2022年
	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績	2Q累計実績*	2Q累計計画	2Q累計実績
売上高	1,597	1,518	1,535	2,136	1,958	2,269	1,004	734	909	13,557	13,572	13,800
売上総利益	481	461	491	415	250	387	255	107	174	5,392	5,638	5,761
営業利益	1	155	171	275	92	214	153	19	81	584	578	790